

## 地域自治会の防災訓練で講話

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原一陸尉）は、11月4日（金）、横浜市栄区本郷台自治会に対する防災講話支援を実施した。

本講話は、同自治会の防災行事の一環として「災害派遣経験のある自衛官の経験談と大規模災害において自治会として備えておくべきこと」についての講話の依頼を受け、第31普通科連隊第1中隊長が実施したものである。当日は、区の防災担当職員を含め約50名が参加し、東日本大震災における自衛隊の活動や当時の被災状況等について真剣に聴講するとともに、被災者のために全力で取り組んだ人命救助や被災者への生活支援活動に対する感謝の言葉が寄せられた。また、「首都直下型地震」がいつ起きても不思議はないと予想されていることから、参加者からは「被災後何日ぐらいで自衛隊が現地に来られるのか」「食事や寄付を受けた衣服等の配分要領」など多くの質問が寄せられた。

上大岡募集案内所は、「今後も、自治体からの同様な要請に応えられるよう努力する」としている。



中央：本郷台自治会長 鈴木氏  
右側：31普連1中隊長 綱田3佐  
左側：上大岡募集案内所長 平原1尉



聴講中の本郷台自治会の人達

## 「そなえパークの日」にて広報活動

自衛隊神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 大里3海佐）は、11月6日（日）、横須賀市にある長井海の手公園「ソレイユの丘」で行われた防災イベント「そなえパークの日」において広報活動を実施した。

自衛隊ブースでは、手旗信号体験やロープワーク講習、災害派遣活動パネル展示を行い、集まった来場者からは「手旗信号を体験できて楽しかった」「いろいろなロープの結び方があり、緊急時に使える結び方も教えてもらい、とても良かった」などの声が聞かれた。

横須賀地域事務所は、「今後も、各種イベントに積極的に参加し、自衛隊の活動をPRしていきたい」としている。



手旗信号体験



ロープワーク講習



災害派遣活動パネル展示コーナー